



# 協力・全力・K16! 中1白崎交流合宿



4月25・26日、中1恒例の白崎交流合宿に行ってきました。昨年の台風の被害で海洋公園は閉鎖されていましたが、幸運にも一週間前に再開されており、例年通り活動することができました。1日目、海洋公園の地層観察では、約2億年前にできた石灰岩に含まれる化石を、生徒は夢中で探していました。班で弁当を食べた後、午後は、由良海釣り公園で釣りに挑戦。釣りは初めてという生徒も多く、小サバやアジが釣れる度に歓声があがっていました。優勝

は22cmのグレを釣ったB組3班でした。夕飯は飯盒炊飯で、火起こしから苦労しながらみんなで協力してカレーを作りました。また、釣った魚を唐揚げにいただきました。

夜のキャンプファイヤーのラストでは「みんながみんな英雄」を合唱し大盛り上がりでした。16期生のテーマソングになりそうですね。

2日目、午前中はフィールドサーチで自然の家周辺を班で協力して駆け巡りました。午後は大引の砂浜に向陽中の校章を象ったサンドアートを製作。雲一つない青空の下、みんな真っ赤に日焼けをして汗だくになって頑張りました。合宿での経験や活動すべてが16期生の共同作業です。その中で自然とそれぞれが心を開き、交流し、入学当初とは違う集団に成長できたように思います。学校でもこのような「共同作業」を繰り返しながら「向陽生」になっていくのです。



## 朗読の楽しさを学ぶ 1年生特別授業

20日、和歌山大学の藤田直子先生をお招きして、1年生で朗読の授業がありました。「読解力こそが大事」という朗読の基礎を学び、段階的に練習を重ねるごとに、生徒はどんどん感情豊かに朗読ができるようになっていきます。最後には、みんなが「もっと朗読したい」という気持ちにさせられる授業でした。普段からの朗読に生かされることを期待します。



## がんばれ向陽生! 仁坂知事講演

22日、仁坂吉伸県知事が来校され、特別講演会が開催されました。講演では「人生で何が大事か」として、いい大学に行くよりもいい人になる、そのために正義感と使命感が大切であること。謙虚に聞き学び、「ホンマかいな」「なんでやねん」と考える癖をつけ、事実を確認しながら自分で考えること。一度きりの人生、「私なんか・・・」と思わず失敗を恐れず挑戦すること。若いほど無限の可能性があるが、成長し仕事や夢が決まっていくほど可能性を捨てることになる。だから今「深く悩み、迷い、高くとべ!」とエールをいただきました。最後、質疑応答の時間があり、高校生の3人が「生態系保全」「商業捕鯨」「IR誘致」について堂々と質問し、知事と議論する場面も。3人ともに中学校出身の環境科学科生。「個人力」が際立つ先輩に知事も感心されていました。